

気にしてみれば 見えてくる...

これって差別？

私たちが普段何気なく使
い、またテレビや雑誌などのマス・
メディアから伝達される言葉や文字。
これらの中には、成り立ちや意味をひも解
くと、男女差別や偏見を含んだ表現がかなり
あることに気づかされます。

そのような言葉を拾ってみました。身近
なところにひそむ気になる言葉を見直
して、男女差別や偏見のない社会
につないでいきたいですね。

【専業主婦】

バブル期の核家族で、猛烈社員の夫を
支えるため、「就業せず、家事に専念する
主婦」(三省堂「大辞林」第1版・88年11
月)の意で用いらはじめました。

専業主婦にスポットが当たりすぎて、「女性
は家事に専念し論者から礼賛されたり、女
性の社会進出を妨げると批判されたりと、
論争の歴史を繰り返しました。

このように女性を就業の有無によつて
専業主婦と働く女性とに分ける表現は差
別であり、女性間の対立をつむぐことに
つながります。

【女子アナ】

女性の進出がめざましいメディア界で
すが、女性アナウンサーたちはまとめて
「女子アナ」と呼ばれています。キャス
ターに昇格すると表現は女性に変わり、女
子との明らかなランクづけがあります。

若く華やかで、美人アナと称されたり
しますが、男子アナ・美男アナとは言
いません。

「女子アナ」の表現には、アナウンサー
としての専門性を見えにくくし、単にア
イドルの興味の対象に留める、女性軽視
の響きがあります。

【女流】

女流作家、女流棋士などは、男性であ
れば作家、棋士と表現されています。

なぜ女性だけ「女流」をつけているので
しょうか。

辞典には「社会的に活動している女性」
とあります。男流という言葉はありません。
男性は社会的に活動をしているのは
あたりまえのことでしょう。これは
単に男女の区別ではなく、社会的な力関
係を言葉で表現しているのだと思われま
す。

【処女作】

処女作は、初めて制作した、または世
に発表した作品、という意味です。(小学
館「大辞泉」より)。

処女作を英語では、maiden workと言
い、「初めての作品」を意味しますが、日
本語に訳すとき、処女作となりました。

この文字を見たとき、恥ずかしさにド
キッとしませんか。女性特有の、しかも
性的意味合いの強い言葉を使わなくても
初制作、初作品でいいはずですよ。処女地
処女峰、処女航海も同じです。これは、
処女性を重んじる男性優位社会が背景に
あったからでしょう。

【彼氏 彼女】

「広辞林(三省堂)」によると、彼とは、
あれ、あの物、または男性を言い、彼女
とは、昭和初期に流行した語で氏は敬意
を表わします。また彼女とは、話し手、
聞き手以外の女性をさす語で、かのおん
なから、かのじよになりました。

恋人同士になった時、男性は相手を彼
女、女性は彼氏と何気なく使っています。
彼氏の反対語は？ 彼女。敬意を表わし
た反対語ってないの？

【刺身のつま】

元来、「刺身の妻」とは食中毒を防ぐた
め、刺身に添えた薬味のことを指してい
ました。今は、刺身の添えものにする野
菜や海草、あつてもなくても、どうで
もよいものを意味します。(三省堂「大辞
林」)

妻の文字は、妻板、妻戸など、正面の
わき、側面にあるものとして使われてき
ました。なぜ、「つ
ま」は(つま)を使
わなかったのしょ
うか。

最近では、刺身の
つまはひらがなで
表現されるようにな
りました。

